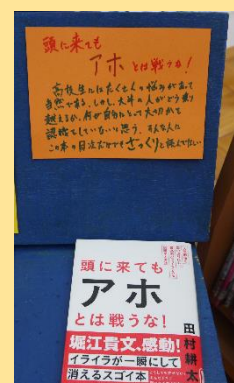
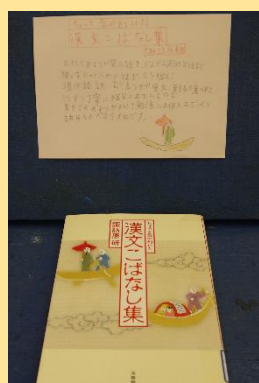


企画展示 2019.10

「ざっくりと読める本」



夜が涼しくなったとはいえ、どっぷりと読書をする気も起こらないというそのあなた、こんな本はいかがでしょう。

『よるのばけもの』

「夜になると、僕は化け物になる。」自分の体に変化していく、それも夜だけ。クラスのいじめ対象になっている彼女とたまたま会った夜の学校。自分ってなんだろうって思う作品。

『ちょっと気の利いた漢文こぼなし集』

漢文が苦手な人でもこれはちょっとおもしろい。教科書には載っていない話が満載。そして、最後のページにはこの漢文が出題された大学名が。絶対読むべき。

『ふしぎな夢』

ご存じ星新一の短編集。これこそざっくりと読めます。ちょっとはまったら抜け出せない世界観があります。

『頭に来てアホとは戦うな!』

世の中、「アホ」ばかりと思っている自分が一番「アホ」なのではないかと思うことがある。人間関係がよければ、腹が立つこともないだろうが、そういうことはほぼないに等しい。

目次を眺めるだけでも読んだ気になる1冊。